

科目番号	45	科目名	レジャー・レクリエーション論	
英文科目名	Study of Leisure and Recreation			
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ		大学	
連絡先	大津市北比良1204番地			
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429
担当教員	佐藤 馨 (スポーツ 学部 准教授)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	未定	会場		
授業期間	2022年4月13日(水)～2022年7月20日(水) <毎週水曜日> 3 時限・講時 13 : 10 ~ 14 : 50			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)	50	%	
	レポート試験(期末)	35	%	
	平常点(出席・授業態度)		%	
	その他(確認テスト)	15	%	
別途負担費用	なし			
その他特記事項				
<講義概要・到達目標>				
日本では経済活動だけでなく生活や人生を豊かにするレジャーやレクリエーション活動に目を向け、その重要性を再認識する時期と言える。本講義は、日常生活におけるレジャー・レクリエーションの意義や価値を理解するとともに、レクリエーション支援者として必要な基礎知識を習得する。さらに学習指導要領のスポーツ概論「豊かなスポーツライフの設計」にある、各ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツの楽しみ方を理解し、指導時に活用できる知識を学ぶ。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4月13日	レジャー・レクリエーション論:ガイダンスおよびレジャー・レクリエーション論の概説		
2	4月20日	レジャー・レクリエーションの考え方①レジャー・レクリエーションとは何か		
3	4月27日	レジャー・レクリエーションの考え方②現代社会において、なぜレジャー・レクリエーションは必要か		
4	5月11日	日本人の余暇生活		
5	5月18日	諸外国における余暇生活		
6	5月25日	前半までの授業のまとめと確認		
7	6月1日	社会福祉とレクリエーション①福祉におけるレクリエーションの意味		
8	6月8日	社会福祉とレクリエーション②セラピューティックレクリエーションの意味		
9	6月15日	セラピューティックレクリエーションの視点からみたサービスモデルの活用①余暇活用モデル、健康維持・増進モデル		
10	6月22日	セラピューティックレクリエーションの視点からみたレクリエーションサービスモデルの活用②楽しさ向上モデル、TRサービスモデル		
11	6月29日	レクリエーションによる対人関係能力向上モデルの活用①レクリエーション活用事例		
12	7月6日	レクリエーションによる対人関係能力向上モデルの活用②プログラムの作成方法		
13	7月13日	現場におけるセラピューティックレクリエーションの活用		
14	7月20日	レジャー・レクリエーションとスポーツと健康の関わり②21世紀のレジャー・レクリエーション		
15	月 日	(※100分授業のため全14回で実施)		
<教科書・参考書>				
『現代人とレジャー・レクリエーション』余暇問題研究所編著 不味堂 1997				
『レクリエーション・マネジメント』(財)日本レクリエーション協会編 大修館書店 1994				
『レクリエーション活動援助法』吉田圭一、茅野宏明編 ミネルヴァ書房 2007				
『レクリエーション援助』千葉和夫編 メヂカルフレンド社 1997				
『余暇学を学ぶ人のために』日本余暇学会監修 世界思想社 2004				
『地域福祉論』市川一宏、牧里毎治編著 ミネルヴァ書房 2007				